中村たいすけ だより

Taisuke Nakamura news paper

長崎県議会議員

25号



滋賀県にて第７９回国民スポーツ大会（わた SHIGA 輝く国スポ）が開幕しました！ 長崎県議会文教厚生委員会の委員長として、選手団のみなさんとともに開会式に参加いたしました。 写真は開会式に参加したチーム NAGASAKI です。冬季大会を含めた長崎の天皇杯（男女総合）順位は３０位（昨年は４０位）。２０１９年茨城国体以来となる２０位台復帰は逃しましたが、昨年から大きく躍進することができました。

選手の皆さんのご健闘を心から讃え、チーム長崎の大躍進にお喜びを申し上げます。

中村たいすけ だより Taisuke Nakamura news paper 25号

発行責任者 中村 泰輔

編集責任者 上野 栄夫

⑦ ながさきピース文化祭 2025

本年９月１４日、天皇皇后両陛下をお招きしまして、日本最大の文化の祭典「ながさきピース文化祭２０２５」が開幕しました！発表・共演・交流の機会が文化をもっと豊かに面白くする、日本中が参加する文化の祭典です。本年１１月３０日までの７８日間、長崎県内２１市町を会場にして、各種イベントが開催されます。こちらにピース文化祭のイベント情報のQRコードがございますので、期間中お時間を見つけて是非ともお楽しみください！

ながさきピース文化祭 2025 は、第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者芸術・文化祭の統一名称（愛称）です。ピース（平和）な時だからこそ、文化を思いきり楽しめる！文化で生まれる交流が、ピースを育む！ 文化芸術を通じて、平和を長崎から国内外へ発信しようという思いを込めています 。





天皇皇后両陛下の近くから素晴らしい開会式に参加しました。

お気軽にご相談ください

中村 長崎県議会議員
たいすけ

長崎市みなと坂1丁目
080-5202-5721
nakamura.taisuke.nagasaki@gmail.com
https://www.nakamura-taisuke.net

中村たいすけの令和7年９月議会報告

令和7年9月議会の一般質問と文教厚生委員会での質問内容をもとにご報告いたします。

① 長崎県知事選挙日程確定

先日、長崎県選挙管理委員会は、任期満了に伴う長崎県知事選挙の日程を決定、発表しました。令和７年３月１日の任期満了に伴い行われる県知事選挙は、令和８年１月22日に告示、令和８年２月８日が投票で即日開票されます。

長崎県の最大の課題と言われる「人口減少問題」、県民の皆様から厳しいご意見をいただく「西九州新幹線の整備」、昨今の物価高に対する「所得・雇用対策」、今長崎県に求められる「県政に対する信頼」など、今後の長崎県の行末に大きく影響する選挙となります。長崎県民の皆様が長崎県について深く考えていただける機会になるものだと思っております。

県民の皆様には是非ともご関心を持っていただき、各候補者の政策や取り組みについて SNS などを通じてご覧いただきますよう、お願いいたします。



旭大橋からとらえた長崎県庁

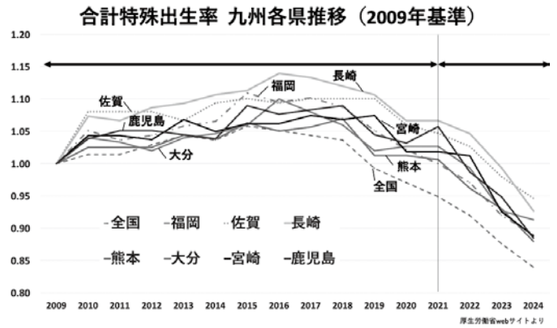
② 子育て政策の成果を示せ

私が委員長を務める文教厚生委員会において、大石知事が１丁目１番地で掲げている「子育て政策」で進められた「高校生の医療費無償化」において、令和６年度分で大幅な予算超過があったことを指摘し、予算２．７億円に対して決算が４．４億円となったことが判明しました。

どこに住んでいても等しく医療を受けられるべきという観点から、医療費無償化は本来国が推進した方が好ましい施策です。各県・各市町の財政力の違いから、高校生の医療費無償化を実施している都道府県は限られています。大石知事１期目の選挙では「合計特殊出生率２」を掲げ、当選後に本施策が実行されましたが、結果的に大石県政となり合計特殊出生率は九州でも顕著に悪化しており、直近の２０２４年度は１．３９となっています。

「高校生の医療費無償化」は県の自主財源で実行した施策であり、本施策の成果を確実に評価し今後の県の子育て政策に生かすよう主張しました。

合計特殊出生率 九州各県推移（2009年基準）



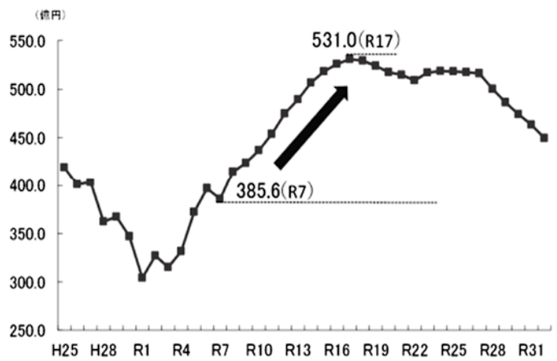
厚生労働省webサイトより

③ 健全な財政運営を

県は来年度２０２６年度から５年間の「中期財政見通し」を発表しました。貯金にあたる基金の取り崩しは今後避けられないことが明らかになりました。歳出は高齢化による医療費の増加などから社会保障関係費の増加を見込むほか（+82 億円／1056 億円）、金利が上昇している公債費も（+118 億円／ 795 億円）増加する見込みです。

財源不足を補う「貯金」にあたる「財政調整３基金」は、毎年、34 億円から 41 億円を取り崩す見通しで、2025 年度の 374 億円から、２０３０年度は 185 億円へとほぼ半減する見込みです。

公債費が今後上昇するリスクを私も議会で以前から指摘しておりましたが、県は具体的な対策を明示せずに今に至っております。県は「長期的な視点が必要」だとして財政構造改革を進め持続可能な財政運営を目指すとしていますが、引き続き県議会としても注視しなければなりません。



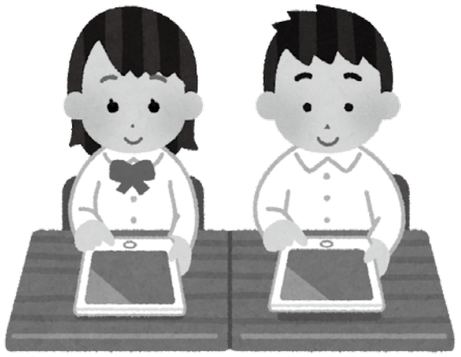
今後の公債費の長期シュミレーション

④ 県立高校の１人１台パソコンの更新

令和８年度から県立高校に入学する生徒については、令和３年度に国の交付金を活用して導入した端末を学校が生徒へ貸与する現在の仕組みから、個人所有の端末を学校へ持参する形へ変更する方針が示されています。

県に対して、影響を受ける家庭への支援策を求めたところ、①経済的な理由で端末を用意することが難しい場合は、引き続き貸与することを検討 ②新たに購入する家庭に対しては、高校入学時の奨学金の創設やスケールメリットを活かした EC サイトの設置を検討という見解が示されました。

保護者負担に対する不安の声も大きく、教育格差を生じさせないことも公教育を預かる県教委の務めであるので改めて支援を強く要望し、他県の事例を参考にしつつさらなる工夫を求めました。



⑤ こども医療福祉センターの施設改修

５月に県議会文教厚生委員会で障害児の入所施設であるこども医療福祉センターを視察しました。建設から２０年が経過し、環境が大きく変化する中、病棟トイレにおけるプライバシー対策や、利便性向上のための改修、医療ＤＸの推進等のための、カルテシステム導入など時代のニーズにあった施設改修の必要を目の当たりにし、今議会で所管部局に対応を求めました。

県からは、「現在、実施している医療機器の更新や老朽化への対応に加え、障害児の療育・こどもの発達支援の拠点施設として円滑に運営できるよう、必要な予算の確保に努めてまいりたい。」との見解が示されました。県の拠点施設としてふさわしい施設となるよう、必要な予算措置を強く要請したいと文教厚生委員長としても、改めて申し入れをいたしました。



⑥ 令和７年９月補正予算

本議会で可決された補正予算となります。詳細はこちらの QR コードからご覧ください。

事業名	内　　容	補正予算［千円］
令和７年国勢調査費	国内の人口・世帯の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得ることを目的として、法律に基づき調査を実施。	29,000
産地総合整備対策事業費	農業機械・資材の導入により収益性向上等に取り組む産地を支援。	721,445
諫早湾干拓造成施設管理事業費	諫早湾干拓北部排水門３号ゲートのワイヤーロープ交換に係る国直轄事業負担金。	35,000
総務事務センター運営 費	会計年度任用職員の報酬等の計算を行う既存システムの改修を実施。	3,613
県議会議員補欠選挙費	長崎市選挙区、佐世保市・北松浦郡選挙区の県議会議員補欠選挙の執行に要する経費。	135,796
ジェットフォイル更新支援事業費	老朽化した高速船ジェットフォイル（ヴィーナス２：博多 - 壱岐 - 対馬）の更新支援について、物価上昇等に伴う船体価格の増額分及び期間延長に係る債務負担行為を追加。	―
情報発信拠点企画運営事業費	本県アンテナショップ「日本橋 長崎館」の次期運営にあたり、更なる県産品の認知度向上や観光誘客等につなげるため、回遊性向上や軽飲食機能強化等のリニューアルを実施。	4,400